万が一火災が発生したら

① 火花や煙が激しく噴出している場合は、<u>近寄らない</u>

② 火花や煙の勢いが収まったら、<u>大量の水</u>や消火器で消火する

③ 大量の水で温度を十分に下げ、安全に配意し、<u>水没させる</u>



焦らず、身近なものを
使って消火しましょう

Point 1
大量の水をかける



Point 2
水没させる



素手で触るのは
やめよう！



119番通報は
安全な場所から
通報しよう！

誤った廃棄方法でも火災が・・・！

住宅の中だけではなく、誤った廃棄方法によるごみ処理中の火災も急増しています。不要品を処分する際は、製品の取扱い説明書をよく確認した上で、お住まいの自治体の廃棄方法に従い廃棄してください。



可燃ごみ回収中に、ごみ袋から煙！！



ごみ袋からバッテリーが！？

問　合　せ　先

練馬消防署　予防課　電話番号 03−3994−0119

※　本リーフレットにおける火災統計は、東京消防庁管内の数値を集計しています。

令和８年７月発行



STOP！

STOP！住宅防火シリーズ⑦　火災から大切な命を守ろう

リチウムイオン電池関連火災

近年、急増！取扱いに要注意

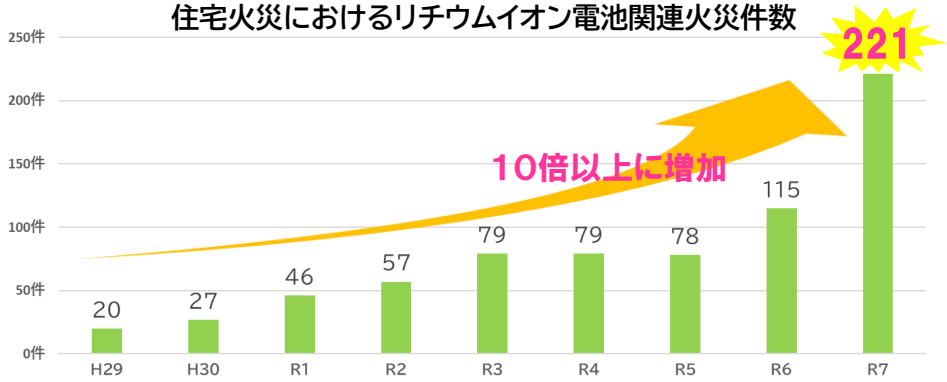
リチウムイオン電池関連火災とは、リチウムイオン電池を搭載した製品（差込みプラグ及び器具コードを除く）から出火した火災のことをいいます。



動画はこちら

■ リチウムイオン電池に起因する火災が、近年急増しています。令和7年中は、221件（速報値）発生し、過去最多となっています。

■ 取扱い方法をよく確認し、異常を感じた場合は、すぐに使用を中止しましょう。



練馬消防署

身近にあるリチウムイオン電池搭載製品

（例）



住宅火災における
製品用途別発生状況（令和7年中速報値）

モバイルバッテリー	71件
スマートフォン（携帯電話含む）	23件
電気カミソリ	22件
電動アシスト付自転車	15件
コードレス掃除機	11件
ポータブル電源	11件
ワイヤレスイヤホン	9件
タブレット	7件
携帯型扇風機	6件
その他	43件
不明	3件
計	221件

発生が3件以下のものは「その他」に分類し、ノートパソコン、電動工具、スピーカーなどが含まれています。

⚠ こんなときは危険 ⚠ 今すぐチェック！

- ☐ 熱のこもりやすい場所で使用している
- ☐ 膨らみ、変形している
- ☐ 過去に落下させたことがある
- ☐ 充電中や使用中に発熱することがある
- ☐ 充電できないなどの不具合がある



一つでも当てはまる場合は火災の危険が・・・！

【事例1】「充電中のモバイルバッテリーから出火した火災」

突然、住宅用火災警報器が鳴動し部屋を確認したところ、布団の上で充電していたモバイルバッテリーから火が出ているのを発見した。

【事例2】「外部からの衝撃により出火した火災」

テーブルに置いてあったスマートフォンに肘が当たり、床に落下した直後、出火した。



充電中に多く発生！～外部衝撃にも要注意！～

リチウムイオン電池関連火災（令和7年中）のうち、**約6割が充電中**に発生しています。

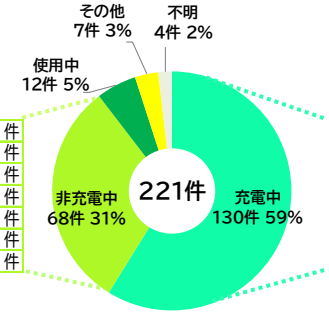
充電中で最も多いのは、「通常に使用して出火」、次いで多いのは、「製品の欠陥（リコール含む）」、**「充電方法誤り（正規品以外で充電）」**です。

非充電中で、最も多いのは、**「分解・廃棄・バッテリー交換」**、次いで多いのは、「通常に使用して出火」、**「外部衝撃（落下）」です。**

住宅火災における出火時の状況内訳（令和7年中速報値）

非充電中の
製品使用状況内訳（68件中）

分解・廃棄・バッテリ交換	16 件
通常に使用して出火	14 件
外部衝撃（落下）	12 件
製品の欠陥（リコール含む）	2 件
使用方法誤り（非純正品バッテリ使用など）	2 件
その他	14 件
不明	8 件



充電中の
製品使用状況内訳（130件中）

通常に使用して出火	64 件
製品の欠陥（リコール含む）	15 件
充電方法誤り（正規品以外で充電など）	10 件
使用方法誤り（非純正品バッテリ使用など）	2 件
外部衝撃（落下）	1 件
その他	30 件
不明	8 件

注：グラフの小数点にあっては四捨五入しているため、個々の数値の和が100%とならないことがあります。

火災を防ぐポイント

1. 衝撃を与えない、分解しない
2. 指定された充電器を使用する
3. 燃えやすい物がない場所で充電する
4. 車内など熱がこもりやすい場所での使用は控える
5. 発熱などの異常がある場合は使用をやめ、製造業者や販売店に相談する

住宅用火災警報器を備えましょう

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して火災が発生したことをいち早く知らせ、素早い避難や有効な初期消火、早期通報に繋げることができます。適切に設置・維持管理を行い、大切な生命・財産を守りましょう。

